

# 暫定版 ASSIST CONVEYOR

特許出願中

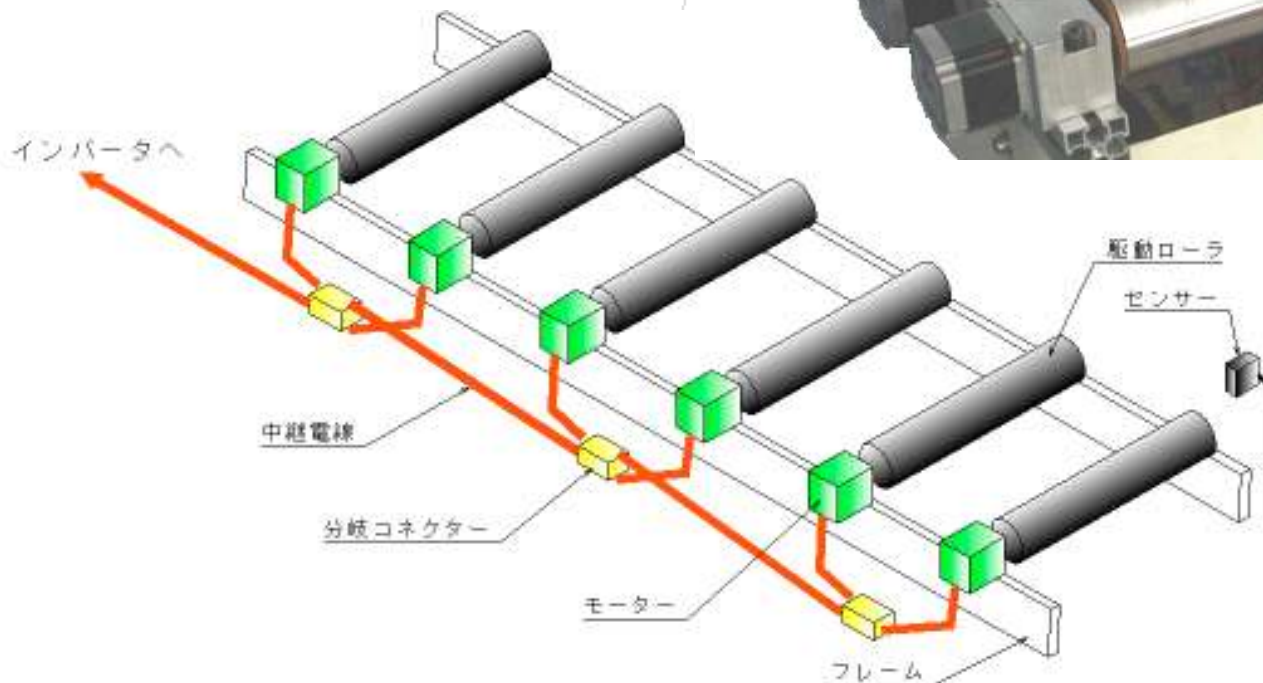
## ローラーコンベアをチェーン連結から、ワイヤー連結へ！

低推力で本質安全さらに簡単施工が可能で標準化、再利用性の高い、コンベアです。

アシストモーターはハイインピーダンスモーターです。  
出力軸が機械的に拘束されても、モーター焼損の危険がありません。  
(長時間の拘束は機械部品の破損の原因になります)

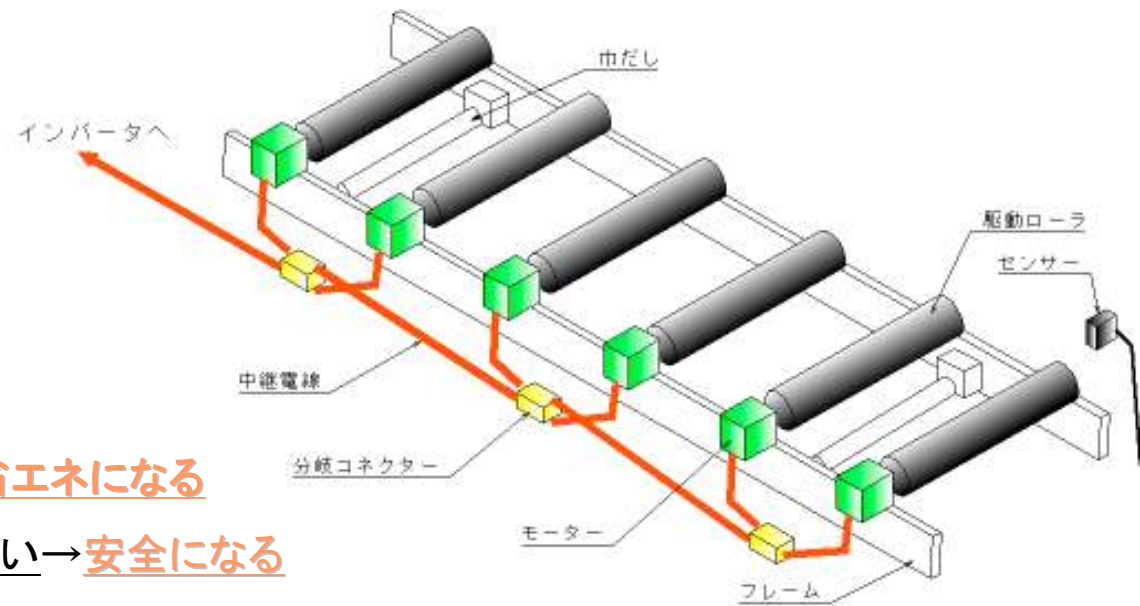
回転数が低く(60Hz時に72rpm)減速機の無い構造で信頼性が高い。

液体の飛散する所でのご使用の為に、防水塗装を施したモーターや、  
水よけカバーを用意しております。  
(Sタイプモーターの保護等級 IP54)



## アシストコンベアの特徴

ローラーコンベアのローラーにモーターをダイレクトに取り付けました



### メリット

1. 機械的な伝達ロスが無い→省エネになる
2. チェーン等の挟まれ箇所が無い→安全になる
3. 機械構造物が少ない→保全性が良い
4. 専用部品が少ない→リサイクルの範囲が広い
5. 標準部品で構成出来る→施工期間の短縮
6. モーターは減速しなくても搬送に適した回転数→減速機が無く省スペース

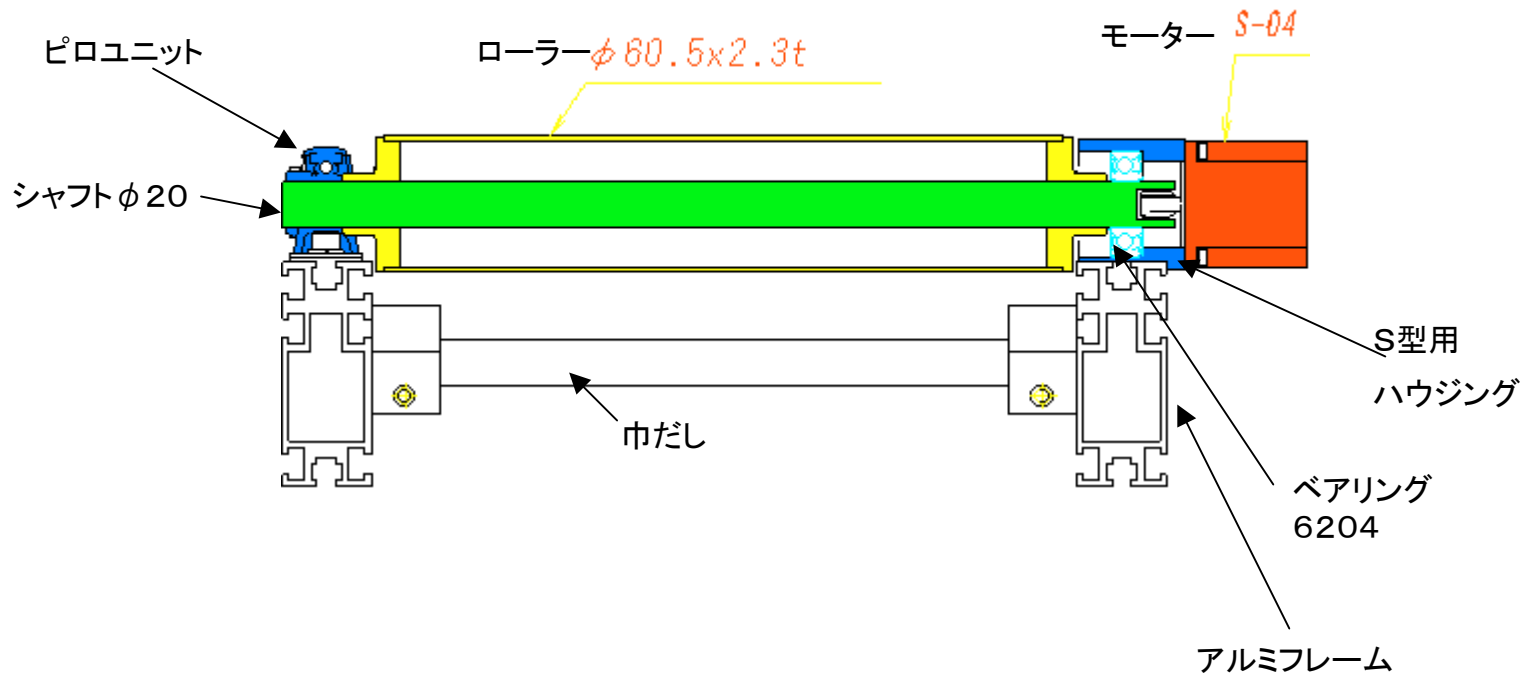
# アシストコンベアの施工

1. アルミフレームを必要長さに切断します。
2. フレーム巾を決めて巾だしを取付ます。
3. アルミフレームにローラーユニットを取り付けます。
4. モーター配線を連結します。

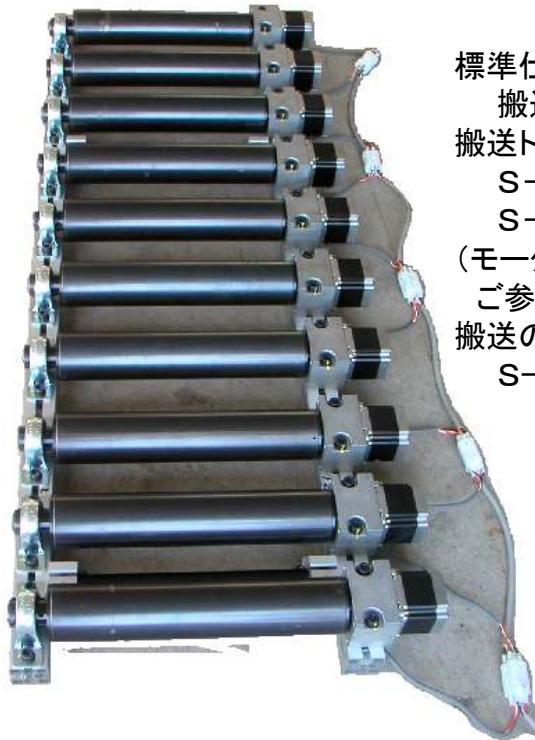
これで出来上がりです。0.2kwのインバータでモーター20個まで取り付けできます

(S-04モーターを60Hzで駆動した場合です。詳しくはモーター取り説をご参照下さい)

モーターと大地間の接地抵抗が100Ω以下になる様にして下さい。



# アシストコンベア 通しローラータイプ 型式 T□□-\*\*\*-□□□



標準仕様

搬送スピード=13.5m/min(60Hz時)

搬送トルク

S-04モーター使用時=4Kgcm(60Hz時)

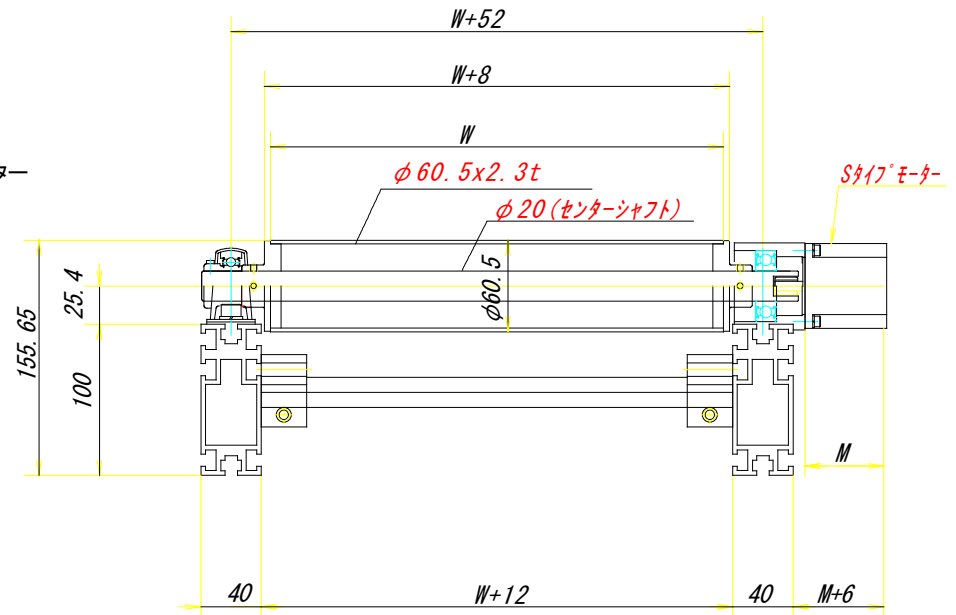
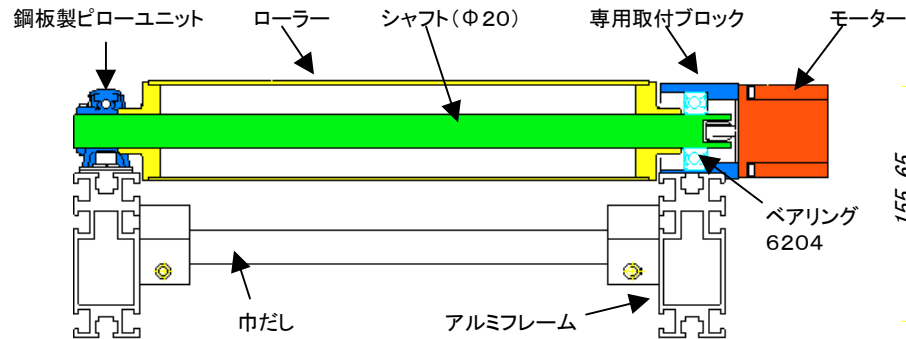
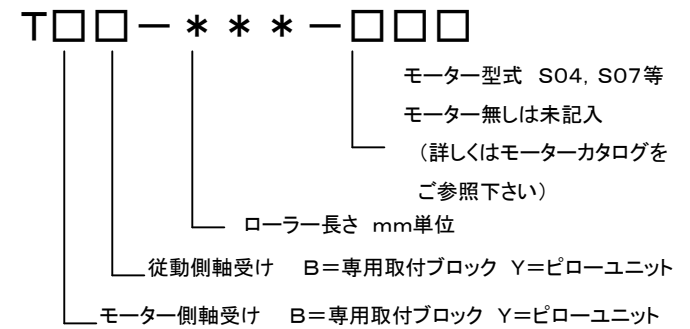
S-07モーター使用時=7Kgcm(60Hz時)

(モーターに付いては、アシストモーターカタログをご参照下さい)

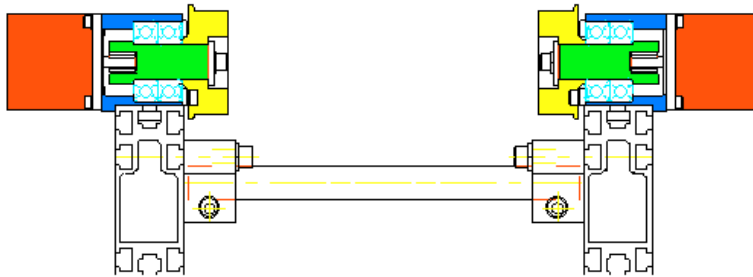
搬送の目安

S-04使用時、搬送重量50Kg以下

特殊仕様のローラー製作しております  
詳しくはお問い合わせ下さい。



# アシストコンベア Sタイプ片持ちローラー



S-04モーター使用時  
 搬送の目安=150Kg  
 搬送スピード=13m/min

型式 S-□.....□-B□ □

ベルト掛け形状  
 T = タイミングベルト  
 F = 平ベルト  
 無し = ベルト掛け無し

ローラーツバ形状  
 U = モーター側ツバ付き  
 G = 反モーター側ツバ付き  
 H = ツバ無し  
 特 = 特殊品

モーター型式 S-04-P-CG, S-07-2-3-P-CG等  
 (詳しくはモーターカタログを ご参照下さい)  
 モーター無しはSのみ記入



## アシストコンベアの応用機器

### アシストカート(台車ユニット)

搬送の目安=80Kg

搬送スピード=18m/min(MAX)



### アシストストップ(ストップユニット)

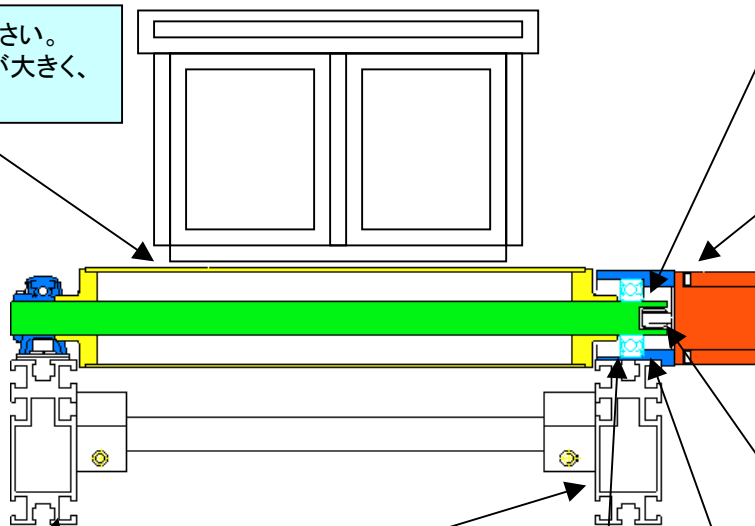


### アシスターンテーブル(旋回ユニット)



# アシストコンベアの制作上の注意事項

搬送面の形状は平面にしてください。  
凹凸が有りますと、搬送抵抗が大きく、  
搬送不良の原因になります。



モーターとローラーの芯を合わせて下さい  
アシストモーターは低トルクですので  
モーターとローラーの芯ズレに困り  
搬送トルクが減少します。  
また、芯ズレした状態で使用しますと、  
モーター軸の破損につながります。

モーターに水などが掛からない様にして下さい  
モーターは完全防水では有りませんので、  
濡れた状態で長時間使用しますと、  
絶縁不良を招き、漏電します。

モーターを長時間拘束させないで下さい。  
拘束時の振動をカップリングゴムが吸収しており、  
ゴムの劣化が早まり、ゴムの破損につながります。

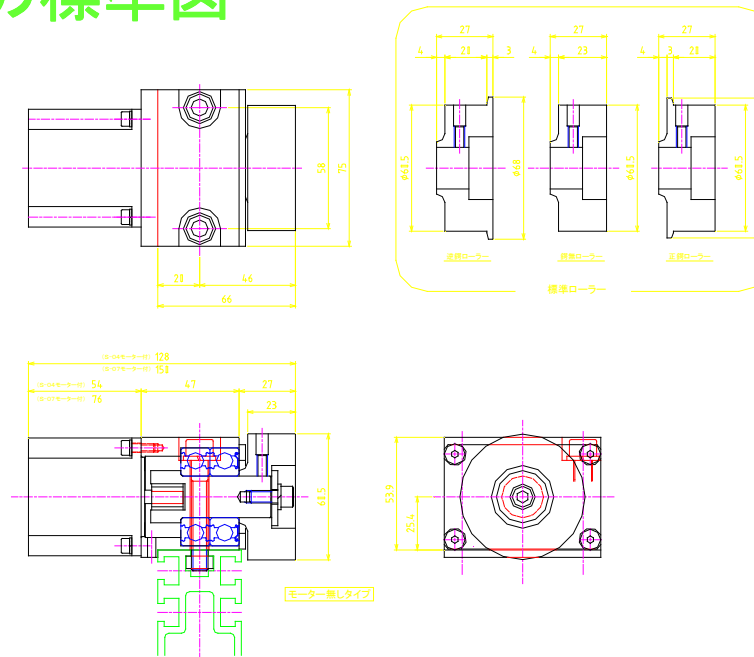
コンベアは水平に設置して下さい。  
コンベアが傾きますと、ローラーの芯ズレや、  
搬送物の蛇行などの原因になり、  
搬送抵抗が大きくなり、  
搬送不良の原因になります。

専用のブロックは、  
取付面の平面度が、荒いので、  
鉄制定盤等に取り付ける場合は、  
ブロックの取付面を加工する等、  
ご注意ください、

モーターのボディアースを確実に実施して下さい。  
モーター本体とアース間で抵抗が100Ω以下に  
なるようにして下さい。  
アルミフレームをご使用の場合、アルミの表面に  
アルマイト処理がされている場合が殆どです。  
アルマイトは絶縁材ですので、モーターが  
漏電した場合、感電災害の危険が有ります。  
アルマイトの厚みは10μm程度ですので、  
ヤスリなどで剥がして施工して下さい。

モーターの取り扱いには、  
モーターカタログをご参照下さい

# 片持ちタイプアシストコンベアの標準図



# 通しタイプアシストコンベアの標準図

